

『真光寺川 里親の会』通信

10月号 一通算第79号

2007年10月14日

「メダカ」飼育などに思うこと



永 いこと忘れていたメダカのことに気が向いたのは6年ほど前の事である。リタイヤして間もなく真光寺川の川辺散歩のとき、以前は…見かけなかった川面にキラキラと小魚の魚影をみて、さらにメダカ基金のポストを見て、この川を清流にする会の活動を知ったときである。地道な活動の成果で小魚が住めるまでに川がよみがえった事に、感動したのを覚えている。この頃自然の中でのメダカはごく限られた所にしか生息していなかったのである。子供の頃何時でも身近にあって遊ぶ事もできたメダカを知って貰おうと、真光寺川祭りなどでメダカプレゼントなどの活動をしているのを知り自分も参加しようと飼育することにした。

8 月初旬五条池のメダカ10尾ほどを、会員の五条さんに分けていただいた。後で判った事だが親メダカ3尾、他は子供、うち4尾はタモロコ(クチボソ)であった。45×45×90の水槽を友人に貰い、中に田んぼの土を植木鉢に入れて、水草も植え水道水にカルキ抜き剤をいれて飼育を始めた。餌はホームセンターなどで売っているメダカの餌を1日1回、一つまみあたえた。戸外で飼育したので冬は水槽の周りを発泡スチロールで囲い夜は毛布でくるむようにした、幸い1年目の春まで皆元気で6月ごろになると初めにタモロコが孵化し次にメダカが10尾以上孵化した。その後もときどき卵を抱いた親を見たがわずかしか孵化しなかった、親魚が卵も孵化した子供も食べてしまうらしい。2年目以降は水槽も増や



メダカの稚魚の飼育

し室内で飼育もしている。浄水装置を取り付け、室内用は蛍光灯もつけた。五月半ば位から産卵が始まるので、体外に卵を抱いているのを見たら2~3日して水草全部を取り替えてバケツに入れておくと1週間~10日ぐらいで孵化している。早いものは半年ぐらいで成魚となるらしい。

今 年の真光寺祭りのときこのメダカは日本メダカですかと問われ黒メダカですとしか返答できず後でいろいろ調べてみました。五条池のメダカはクロメダカだそうです。戸外で冬、氷の下で生き延びてきたので、日本メダカだと思います。野生メダカは日本、アジア、東南アジアにしか生息しておらず2002年現在で14種類のメダカが見つかっており、日本のメダカはダツ目で、寒さに1番強く北方に住む、日本メダカ—メダカ属—メダカ種、地域差により個体差もあり、遺伝子の違いも有ると言われています。2007年環境庁により絶滅危惧種Ⅱ類「メダカ北日本集団」「メダカ東日本集団」に分けて指定されました。その他のメダカの仲間は熱帯魚の仲間カダヤシーカダヤシ目、これはアメリカからボウフラ退治に移入されたもので見た目はメダカそっくりで非常に繁殖力が強いそうです。卵は1回10~30個、25度ぐらいの水温であればメスは毎日の様に産み、飼育では2~3年は生きられるが、流れの速い所では生きられない、水草がないと産卵できず繁殖が出来ない。膨大な量の卵を産むのは鳥や魚、他の生物の餌になる食物連鎖の下位にある故かもしれません。現在の整備された用水や田んぼでは生存そのものが難しい、昔ながらの自然が望まれる所以です。



メダカの学校 お遊戯中

× ダカは育てやすく、江戸時代から飼育され、改良品種が多く作られているそうです。現在では光、青、白、黒、アルビノ、ヒメダカ等がありペットショップ等で販売されているようです。又今は小学校の授業に飼育などを取り入れている所もあるそうです。絶滅危惧種に指定

された事でもわかに保護熱が高まり、メダカ池やジオトープ池に飼育されています。生息地域の遺伝的に異なるメダカや観賞用に飼育改良されたメダカを河川などに放流する事は慎まなければならないと言われていています。神奈川県には小田原に1箇所だけ野生のメダカが生息しているのが知られていますが、藤沢市でも境川水系の野生種が見つかり他の水系でも、生息確認されています。残念ながら町田市に問い合わせましたが、わずかに下水道局の関係者が高ヶ坂、松葉調整池に業者から仕入れたメダカを放流した記録があるとの事です。大切なのはメダカを守る事ではなく、住める環境保全こそが望まれることです。(桜井文夫記)



卵を抱えたメダカのメス

真光寺中学1年生—真光寺川総合学習と川沿いを清掃！

真 光寺中学1年生はボランティア活動についての総合学習として、9月20日に「真光寺川を清流にする会」のボランティア活動について学習し、27日には真光寺川沿いの道の清掃を体験しました。20日には当会の山本隆治さんが真光寺中学に出向き、1年生全員に当会の活動の考え方や活動状況、真光寺川の今と昔、真光寺川の生き物などについて講演しました。特に写真を使っての魚や鳥の説明には興味を示していました。また27日は雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、1年生99名が源流地区から広袴公園までの班と開戸親水から広袴公園までの班に分かれ、真光寺川沿いの道のゴミ拾いを体験しました。集めたゴミは学校へ持ち帰り、生徒が分別して清掃局に出すとのこと。後日真光寺中学の校長先生と1学年主任の久保田先生から礼状と生徒達の感想文が送られてきました。



ゴミ拾いをする真光寺中学1年生

『めだか基金』ポスト

郵便振替で二田紀子さんから。山本さんの真光寺中学での講演料、基金ポストへの寄付、多摩の自然見つけクラブ、一木会飲み会の割り勘残など合算して、9月は合計6,173円でした。有難うございます。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「**印字済払込取扱票**」をポスト脇のファイルに入れてあります。「**赤インク印字の払込取扱票**」をご利用頂ければ、**手数料無料**でお振込みが出来ます。またなるべく**ATMでの振込み**をご利用ください。どうかよろしく願いいたします。

郵便振替 『00150-4-574114』

加入者名 『真光寺川里親の会』

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

11月例会は11日(第2日曜日)です

☆ スケジュール **9:30 開戸親水場 集合**

09:30 開戸親水場～下堰親水場のオペレーション(クリーン作戦)

11:30 作戦会議(「いちよう会館」)

12:30 解散予定

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見ご感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp